

1

すべてに感謝しよう

G D7 C G
 すべてに感謝しよう わが主に
 G D7 G
 賛美と喜びをもって 声高らかに
 C G G D7 G
 ほめ歌おう ハレルヤ
 G
 賛美 主 ハレルヤ おお
 C G D7
 賛美 主 ハレルヤ おお ハレルヤ

神様感謝します

1. G C G G A7 D7
 神様 感謝します あなたを愛します
 G B7 C D7 G D7 G
 御前にふして 御顔拝し 神様感謝します
2. イエス様感謝します あなたを愛します
 十字架の恵み 私をおおう イエス様感謝します
3. 聖霊様 感謝します あなたを愛します
 力と愛と平和満たす 聖霊様 感謝します

詩篇91篇1～2節

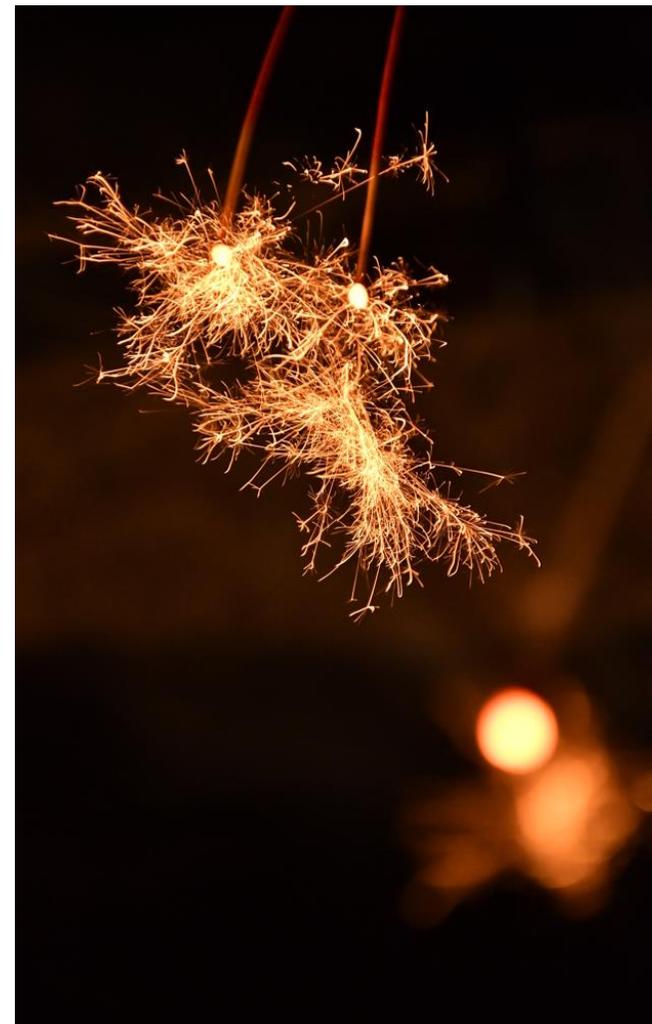
C F G Am
 いと高き者のもとにある
 C/E F Gsus4 G
 隠れ場に住む人
 C F G E/G# Am
 全能者の陰にやどる 人は
 C/E F Gsus4 G
 主に言うであろう
 F G/F E Am
 「わが避け所、わが城、
 F C/E Dm G C
 わが信頼しまつるわが神」と

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り
3. 個人的な願いの祈り
4. とりなしの祈り
 - ・瀬戸カルバリーチャペル
 - 礼拝を守ることができますように。
 - 魂の救いと地域の伝道のため
 - 教会員がコロナから守られ強められますように。
 - インターネット YouTube が用いられるように。
 - 家族・親族・友人知人・ご近所の方のために
 - 病いや困難と闘っている兄弟姉妹のため
5. 日本と世界の平和を願って...
 - 終戦(敗戦)後75年を迎える祖国を覚え、日本が神様に立ち返ることができるように。
 - 中国の香港問題に主の助けを祈ります。
 - 韓国と北朝鮮のため。
 - レバノンの爆発事故と混乱を覚えて。
 - モーリシャスで起きた日本タンカー座礁。
 - アメリカ大統領選と日米関係のため。
 - イスラエルの平和のため
 - 世界のコロナ感染の収束のため



瀬戸カルバリーチャペル
 ×Seto LIFE ART Studio
 愛知県瀬戸市みずの坂5-64 0561-48-8899
 牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



祈りの小径(こみち)

Number:022
 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致しましょう。

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

ペテロの第一の手紙4章7～11節

4:7 万物の終りが近づいている。だから、心を確かにし、身を慎んで、努めて祈りなさい。

4:8 何よりもまず、互の愛を熱く保ちなさい。愛は多くの罪をおおうものである。4:9 不平を言わずに、互にもてなし合いなさい。4:10 あなたがたは、それぞれ賜物をいただいているのだから、神のさまざまな恵みの良き管理人として、それをお互のために役立てるべきである。

4:11 語る者は、神の御言を語る者にふさわしく語り、奉仕する者は、神から賜わる力による者にふさわしく奉仕すべきである。それは、すべてのことにおいてイエス・キリストによって、神があがめられるためである。栄光と力が世々限りなく、彼にあるように、アメン。

アモス書9章13～15節

9:13 主は言われる、「見よ、このような時が来る。その時には、耕す者は刈る者に相継ぎ、ぶどうを踏む者は種まく者に相継ぐ。もろもろの山にはうまい酒がしたり、もろもろの丘は溶けて流れる。

9:14 わたしはわが民イスラエルの幸福をもとに返す。彼らは荒れた町々を建てて住み、ぶどう畑を作ってその酒を飲み、園を作ってその実を食べる。

9:15 わたしは彼らをその地に植えつける。彼らはわたしが与えた地から／再び抜きとられることはない」と／あなたの神、主は言われる。

「それゆえイスラエルよ、わたしはこのようにあなたに行く。わたしはこれを行うゆえ、イスラエルよ、あなたの神に会う備えをせよ」アモス4:12

3

黙想とところの投影の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

質問

Q1. 万物の終わり…についてどんなことを知っていますか？どんなイメージがありますか？

Q2. 神様は、私たちにどんな「祈り」を願っておられるでしょうか？

Q3. アモス書4章12節から、「神に会う備え」を自分がするとしたら、どのような備えをするでしょうか？

4

みことばの解説

ペテロの手紙が書かれた背景に、キリスト教の大迫害がありました。常に生と死と隣り合わせであったクリスチャンに、使徒ペテロは、イエス様が死という試練を通過していただき、肉体において苦しんでくださったのだから、同じ覚悟で「心の武装をしなさい」と4章1節で語っています。試練を通過すると、肉体的な、気ままな過ぎ去った時代に戻ってゆこうとする性質が人間にあるのでしょ。ペテロもそれを少し知っていました。ヨハネ21章

彼は、そのような試練のなかの教会(クリスチャン)に、「終わりの時」を意識して生きる大切さを聖書は教えています。

- ・この世は終わりに向かっている。
- ・世の終わりには裁きがある。
- ・私たちの人生も終わりがある。

(メントモリ・終わりから考える)

- ・私たちが神の前に立つ。
- ・キリストはやがて戻ってこられる。
- ・神に会う備えをしよう。
- ・終わりの時には大きな患難がある。
- ・終わりの時には大収穫・救いの御業がなされる。

これらの内容は、3つのこと(お・か・き)を迫ります。

- (1) 主の来臨への「畏れ」を起こさせる
- (2) どんな時も主を信頼して献身する「覚悟」を促す
- (3) 神の御業と再会への「希望」を抱かせる

弟子たちが舟でこぎ悩んでいたときに、イエス様は「しっかりするのだ」「わたしである」「恐れることはない」と語られました(マタイ14の27)。ですから、恐怖(恐れ)に陥る必要はありませんし、信仰が萎縮するためでもありません。しかし、時代や自分を見つめ直し、「終わり(死)」を意識することで「いま(生)」を大切にしたいと思わされます。